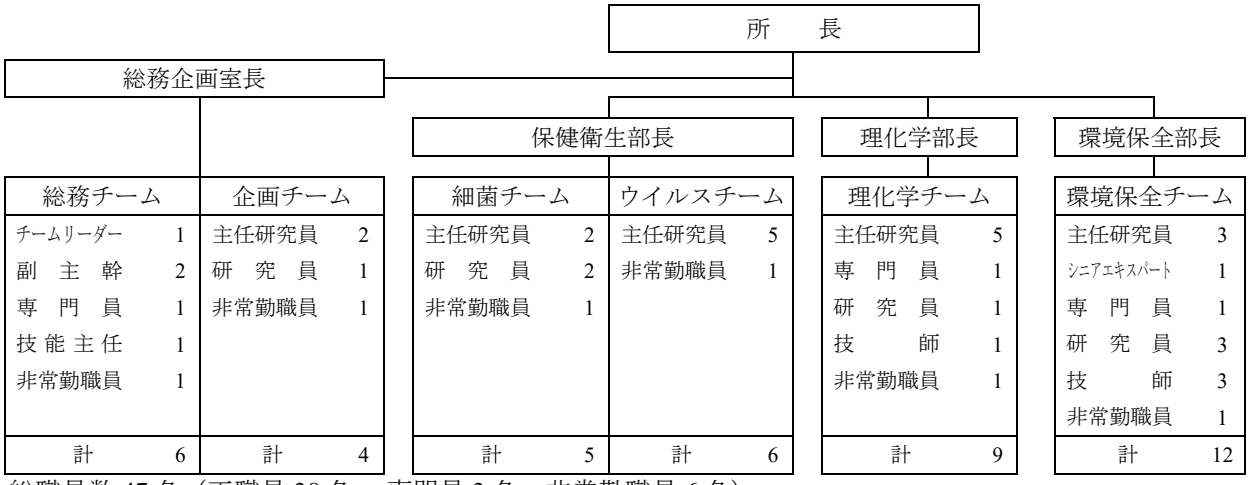
1. 沿　革

年 月	事　　項	
明治35. 7	衛生試験所を秋田市牛島町に設立。	
明治末期	庁舎を秋田市土手長町に移転。	
昭和28. 1	衛生研究所に改称。	
39. 4	衛生科学研究所に改称。	
39. 6	庁舎を秋田市古川堀反町（現千秋明徳町）に新築移転。	
45. 7		公害技術センターを秋田市茨島の工業試験場内に設立。
48. 7		庁舎を秋田市八橋に新築移転（八橋庁舎）。
56. 4		環境技術センターに改称。
61. 8	庁舎を秋田市千秋久保田町に新築移転（千秋庁舎）。	
平成12. 4		環境センターに改称。 秋田市山王の県庁第二庁舎に総務班及び監視・情報班を置く。
14. 3		八橋分室敷地内にダイオキシン類分析棟を新築。
18. 4	衛生科学研究所と環境センターを組織統合し、健康環境センターとして発足。 千秋庁舎に企画管理室及び保健衛生部を、八橋庁舎に環境部を設置。	
21. 4	八橋庁舎の環境部を千秋庁舎に移転し、庁舎を統合。保健衛生部の理化学部門と環境部の化学物質部門を統合した理化学班を環境・理化学部内に設置。組織を企画管理室、保健衛生部及び環境･理化学部とする。	
22. 4	保健所の試験検査課を統合。保健衛生部の微生物班を細菌班とウイルス班に再編し、健康科学班を健康科学・管理班に名称変更。環境・理化学部を理化学部と環境保全部に再編。理化学部には、理化学班を再編した食品理化学班と環境理化学班を設置。環境保全部には環境調査班を名称変更した環境保全班を設置。	
24. 4	企画管理室の総務・企画班を総務管理班と企画情報班に再編。保健衛生部の健康科学・管理班を廃止。理化学部の食品理化学班と環境理化学班を理化学班に再編。	
令和 5. 4	企画管理室を総務企画室に、総務管理班を総務班に、企画情報班を企画班に名称変更。	
6. 4	チーム制の導入により、班の名称をチームに変更。	

2. 庁舎の概要

1）所在地　　秋田市千秋久保田町6番6号
2）敷　地　　867.75 m^2（建物建床面積）
3）建　物　　鉄筋コンクリート造5階建　　延床面積 4,553.52 m^2

3. 組　織 （令和6年4月1日現在）



総職員数47名（正職員38名、 専門員3名、非常勤職員6名）

4. 職員名簿

（令和6年4月1日現在）

		職名	氏名
		所長	熊谷　仁志
総務企画室		室長	川原　和志
	総務チーム	チームリーダー	小松　宏明
		副主幹	佐藤　里美
		副主幹	太田　卓
		専門員	工藤　正博
		技能主任	国安　力
	企画チーム	主任研究員（兼）チームリーダー	小林　貴司
		主任研究員	神田　隆博
		研究員	鈴木　純恵
保健衛生部		部長	斎藤　博之
	細菌チーム	主任研究員（兼）チームリーダー	髙橋　志保
		主任研究員	今野　貴之
		研究員	伊藤　佑歩
		研究員	関谷　優晟
	ウイルスチーム	（兼）チームリーダー（本務 保健衛生部長）	斎藤　博之
		主任研究員	藤谷　陽子
		主任研究員	樫尾　拓子
		主任研究員	小川　千春
		主任研究員	柴田　ちひろ
		主任研究員	佐藤　由衣子
理化学部		部長	木内　雄
	理化学チーム	（兼）チームリーダー（本務 理化学部長）	木内　雄
		主任研究員	佐藤　寛子
		主任研究員	中村　淳子
		主任研究員	松渕　亜希子
		主任研究員	村山　力則
		主任研究員	古井　真理子
		専門員	藤田　賢一
		研究員	若狭　有望
		技師	鈴木　麗未
環境保全部		部長	清水　匠
	環境保全チーム	主任研究員（兼）チームリーダー	玉田　将文
		主任研究員	珍田　尚俊
		主任研究員	生魚　利治
		シニアエキスパート	池田　努
		専門員	児玉　仁
		研究員	安藤　梨沙子
		研究員	小林　渉
		研究員	佐藤　完
		技師	對馬　就
		技師	船木　光新
		技師	鎌田　悠暉

5. 業務内容

（令和6年4月1日現在）

総務企画室	総　務　チ　ー　ム	・人事、服務 ・予算、決算 ・庁舎管理、庶務一般
	企　画　チ　ー　ム	・センター中長期計画の進行管理 ・研究の企画・評価の調整 ・広報、研修 ・外部研究機関等との連絡調整 ・危機管理 ・検査の精度管理（信頼性確保部門） ・刊行物の編集・発行・管理
保健衛生部	細　菌　チ　ー　ム	・感染症発生動向調査に係る病原体定点観測調査 ・細菌感染症及び食中毒等に係る病原微生物検査及び調査研究 ・結核菌の分子疫学解析 ・食品衛生監視指導に係る検査 ・生活衛生に係る検査 ・水質汚濁対策に係る検査 ・廃棄物対策に係る検査 ・地方衛生研究所衛生微生物協議会 北海道・東北・新潟ブロック支部レファレンスセンター （カンピロバクター、百日咳、薬剤耐性菌） ・結核登録者情報調査
	ウ　イ　ル　ス　チ　ー　ム	・感染症発生動向調査に係る病原体定点観測調査 ・ウイルス感染症及び食中毒等に係る病原微生物検査及び調査研究 ・感染症流行予測調査（日本脳炎） ・つつが虫病の抗体検査 ・感染症情報センター
理化学部	理　化　学　チ　ー　ム	・食品衛生監視指導に係る検査 ・医薬品等監視指導に係る検査 ・家庭用品試買検査 ・環境放射能水準調査 ・福島原子力発電所事故に伴うモニタリング調査 ・食品中の化学物質に関する調査研究
環境保全部	環　境　保　全　チ　ー　ム	・大気汚染対策に係る検査 ・福島原子力発電所事故に伴うモニタリング調査 ・環境放射能水準調査 ・水質汚濁対策に係る検査 ・生活衛生に係る検査 ・騒音対策に係る検査 ・化学物質対策に係る検査 ・廃棄物対策に係る検査 ・環境保全に関する調査研究

6. 主要機器

（令和 6 年 4 月 1 日現在）

機　器　名	規　格
ガスクロマトグラフ	アジレント・テクノロジー 7890A（FID）
	アジレント・テクノロジー 7890A（FPD）
	アジレント・テクノロジー 6890N（μECD）
ガスクロマトグラフ質量分析計	島津製作所 GCMS-QP2010 Ultra
	島津製作所 GCMS-QP2010 Plus
	島津製作所 GCMS-QP2020 NX
ガスクロマトグラフタンデム型質量分析計	島津製作所 GCMS−TQ8050NX
高速液体クロマトグラフ	島津製作所 NexeraX2
	日立製作所 L−7000
	日本ウォーターズ 2695
	アジレント・テクノロジー 1200（DAD・FLD）
液体クロマトグラフタンデム型質量分析計	エービーサイエックス QTRAP4500
イオンクロマトグラフ	サーモフィッシャー ICS−1100
原子吸光分光光度計	バリアン・テクノロジーズ AA−280FS
ICP 発光分光分析装置	アジレント・テクノロジー 5110 VDV ICP−OES
ノルマルヘキサン自動抽出装置	ラボテック HX−400Ⅱ
高速溶媒抽出装置	DIONEX 社 ASE−200
	DIONEX 社 ASE−300
オートアナライザー	ビーエルテック QuAAtro 2−HR
分離用超遠心機	日立工機 CP70MX
Ge 半導体検出器付波高分析装置	ミリオンテクノロジーズ・キャンベラ社 GC2518/CCⅡ-VD, セイコーEG&G 社 MCA7
リアルタイム PCR 装置	アプライドバイオシステムズ 7500Fast Real-time PCR System
	ロシュ・ダイアグノスティクス ライトサイクラー480 システムⅡ*
自動核酸精製装置	ロシュ・ダイアグノスティクス MagNA Pure LC2.0
	ロシュ・ダイアグノスティクス MagNA Pure 24 System*
モニタリングポスト	アロカ MAR-22
空間放射線量モニタリングシステム	日立製作所
低バックグラウンド放射能自動測定装置	アロカ LBC-5101
大気汚染常時監視テレメータシステム	グリーンブルー
航空機騒音自動測定装置	リオン NA-37
全有機炭素分析装置	三菱ケミカルアナリテック TOC-300V

＊同機種 2 台所有